

定期報告書チェックリスト(指定-第1表～第9表)

定期報告書の作成時におけるチェックリストです。提出前の自己チェックリストとしてご活用下さい。自己チェックを行うことで、提出書類の記入間違い等を未然に防ぎ、書類修正の手間を減らすことができます。

定期報告書作成にあたっては『定期報告書作成のポイント(http://www.enecho.meti.go.jp/topics/080801/teiki_sakusei_point_v1_0.pdf)』もあわせて御参照下さい。

箇所	No.	チェック項目	『定期報告書作成のポイント』 該当ページ	チェック欄	
				該当 有り	該当 無し
全般	1	貴社が有している 全ての エネルギー管理指定工場等について作成しているか。 (特定-第10表に記載した全てのエネルギー管理指定工場等について作成しているか。)	38p		/
指定- 第1表	2	経済産業局が通知した新しい指定番号(※7桁)を記入しているか。 ※平成22年度以降に通知された番号	38p		/
	3	名称、所在地、エネルギー管理者(員)の職名・氏名・連絡先等が正しく記入されているか。	38p		/
指定- 第2表	4	当該年度(報告日の前年度)が記載されているか。	39p(3p)		/
	5	エネルギー使用量の桁間違いがないか。	39p(3～5p)		
	6	適切な換算係数(熱量及び原油換算時)で計算しているか。	39p(3～5p)		
	7	都市ガスを使用している場合、欄外に換算係数を記載しているか。	39p		
	8	原油換算値の対前年度比が記載されているか。	39p(5p)		
指定- 第3表	9	各設備の年間のエネルギー消費量の総計が、当該工場等の総エネルギー使用量の8割を網羅するように記載しているか。	40p		/
指定- 第4表	10	当該工場等における「エネルギーの使用と密接な関係をもつ値」の単位・数値・対前年度比が正しく記入されているか。	41p		/
	11	前年度の報告と同一の単位を記載しているか。	41p		
指定- 第5表	12	エネルギーの使用に係る原単位は、有効数字4桁で記入しているか。	41p		/
指定- 第6表	13	当該年度の欄に指定-第5表の値と同一の値を転記しているか。	42p		/
	14	過去の原単位の値と前年度比の値について、前年度の報告と同一の値を記載しているか。	42p		
指定- 第7表	15	原単位が改善できなかった場合、その理由が明記されているか。	43p		
指定- 第8表	16	「工場等であって専ら事務所」又は「専ら事務所以外の工場等」のいずれかにのみ記入しているか。	44～48p		/
	17	該当しない項目(当該工場等で設置していない設備等に係る項目)は斜線で削除しているか。	46～48p		/
	18	各選択欄について、一つだけ選択しているか。	44～48p		/
	19	『管理標準の設定状況』欄について、「一部設定済」を選択した場合は、進捗状況を%(整数)で記入しているか。	44～48p		
	20	管理標準に定めている事項の『実施状況』欄については、自ら定めた内容を基準に回答しているか。 (例:『管理標準の設定状況』欄で、「一部設定(50%)」であった場合、その50%についてすべて実施している場合は、「実施している」にチェック)	46p		
	21	【「専ら事務所」の工場等の場合】 『BEMS』の欄に記入しているか。	47p		
	22	【「専ら事務所」の工場等であって、当該事務所の居室を賃貸している場合】 『賃借事業者へのエネルギー使用量についての情報提供』欄に記入しているか。賃貸していない場合は情報提供していないにチェックではなく項目欄全体を斜線で削除する。	48p		
指定- 第9表	1	23 小数点以下切り捨て整数値で記載しているか。	50p		/
	2	24 【電気事業を行う発電所又は熱供給事業の熱供給施設を設置している事業者のみが報告する】 燃料の使用に伴って発生するCO2の温室効果ガス算定排出量等を記載しているか。	50p		
	3	25 【他人から供給された電気を使用している場合は記入が必要】 実排出係数の値、根拠及び適用範囲を記載しているか。	51p		
	5	26 全ての事業者は左右2箇所それぞれ有、無のいずれかに○を付けているか。	53p		/
		27 1. 有 に○をしている場合、事業所管大臣あての報告書に温対法に基づく書類(様式1の2または様式2)を添付しているか。	53p		/